

千住真理子 トーク&リサイタル

「無伴奏 ア・ラ・カルト」

愛器ストラディヴァイウス「デュランティ」で奏でる、無伴奏名曲選

◆J.S.バッハ

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第1番より
第1楽章 アダージョ

◆テレマン

無伴奏ヴァイオリンのための12の幻想曲より
第1番 変ロ長調、第10番 ニ長調

◆J.S.バッハ

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番より
第1楽章 アルマンド、第5楽章 シャコンヌ

◆J.S.バッハ

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第3番より
第1楽章 プレリュード

◆イザイ

無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 (ティボニーに捧ぐ)より
第1楽章 幻影

◆イザイ

無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第4番 (クライスラーに捧ぐ)より
第1楽章 アルマンド、第2楽章 サラバンド

◆クライスラー

レチタティーヴォとスケルツォ・カプリス (イザイに捧ぐ)

◆千住 明

スノーダイヤモンド
(NHKアニメ劇場「雪の女王」) ※無伴奏ヴァージョン

◆アルカデルト

アヴェ・マリア ※無伴奏ヴァージョン

◆バガニーニ

24のカプリスより 第24番 イ短調

◆ミルシテイン

パガニーニアーナ

2016.10/15 (土)

2:00PM開演 (1:30PM開場)

京都コンサートホール 小ホール [アンサンブルホール ムラタ]

Saturday Afternoon, October 15, 2016, at 2:00, Ensemble Hall Murata (Kyoto Concert Hall)

●京都市左京区下鴨半木町1-26/地下鉄烏丸線「北山」駅下車、③・①出口から南へ徒歩約5分

入場料金 ¥4,000 (全席指定/消費税込み)

※未就学児童の同伴・入場はお断りします。

※都合により、曲目・曲順等内容の一部が変更になる場合があります。予めご了承ください。

共催:京都市/京都コンサートホール(公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団)

主催/お問合せ:otonowa 075-252-8255 [10:00AM-6:30PM/日曜・祝日休み 土曜不定休]

2016.5/21(土)10:00AM発売

- 京都コンサートホール 075-711-3231
- チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:296-295]
- ローソンチケット 0570-00-0407 [Lコード:54262]
- CNプレイガイド 0570-08-9990
- イープラス <http://eplus.jp/otonowa/>
- 高島屋京都店7Fチケットショップ ※店頭販売のみ
- ロームシアター京都 075-746-3201
- otonowa 075-252-8255 ※電話予約のみ
- 郵便振替口座:00960-8-322727 加入者名:オトノワ

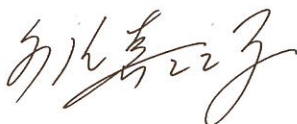
千住真理子 トーク&リサイタル 「無伴奏 ア・ラ・カルト」

Mariko Senju Talk & Recital for Solo Violin Works

© Kiyotaka Saito (SCOPE)

無伴奏の世界を好きになって!これが今回の私のテーマです。
どうすれば、「面白いね」って楽しんでいただけるかを考えました。
そこで「ア・ラ・カルト」にしました。
いろんな作品の聞き所を少しずつ、
トークを交えながら演奏を進めていきます。
また、ストラディヴァリウスの音色を細部にわたって味わっていただくには、
無伴奏ソロはうってつけなのです。
決して固くなりすぎず、柔らかくなりすぎず、
クラシック音楽の中にある無伴奏の魅力をあぶり出そうという試み。
さあ、みなさん、ぜひ参加しにいらして下さい!
会場でお待ちしています。

千住真理子



Program

- ❖ J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第1番 短調 BWV1001 より
第1楽章 アダージョ
- ❖ テレマン:無伴奏ヴァイオリンのための12の幻想曲 より
第1番 変ロ長調、第10番 二長調
- ❖ J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 二短調 BWV1004 より
第1楽章 アルマンド、第5楽章 シャコンヌ
- * * *
- ❖ J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第3番 ホ長調 BWV1006 より
第1楽章 プレリュード
- ❖ イザイ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ短調 (ティボーに捧ぐ) op.27-2 より
第1楽章 幻影
- ❖ イザイ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第4番 ホ短調 (クライスラーに捧ぐ) op.27-4 より
第1楽章 アルマンド、第2楽章 サラバンド
- ❖ クライスラー:レチタティーヴォとスケルツォ・カプリス (イザイに捧ぐ) op.6
- ❖ 千住 明:スノーダイヤモンド (NHKアニメ劇場「雪の女王」) ※無伴奏ヴァージョン
- ❖ アルカデルト:アヴェ・マリア ※無伴奏ヴァージョン
- ❖ パガニーニ:24のカプリス op.1 より 第24番 イ短調
- ❖ ミルシテイン:パガニーニアーナ

※都合により曲目・曲順等、内容の一部が変更になる場合があります。予め、ご了承ください。



千住真理子 Mariko Senju (Violin)

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、1987年ロンドン、1988年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽奨励賞各賞受賞。

1999年2月、ニューヨーク・カーネギー・ホール・ウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。

2015年はデビュー40周年を迎え、1月にイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」、2月にはバッハ無伴奏ソナタ&パルティータ全曲「平和への祈り」をリリース、両作品ともレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。また各地で周年記念公演を行い、好評を博した。

2016年はプラハ交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と各地で共演。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)、「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」(いずれも時事通信社)、「ヴァイオリニスト 20の哲学」(ヤマハミュージックメディア)、母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)、「命の往復書簡2011~2013」(文藝春秋社)、「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

○千住真理子 オフィシャル・ホームページ <http://www.marikosenju.com/>